

広島市立大学産学連携発表会 2025

～ AI×地域共創で描く新しい広島 ～

《日 時》：2025年9月19日（金）13:00～16:30

《会 場》：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
（広島市中区袋町6番36号）

プログラム

13:00～13:05 主催者挨拶

広島市立大学 理事長・学長 前田 香織

第一部 講演会

基調講演 13:05～14:05

「AI・DXが実現する新しいエコシステム ～ 課題先進国 日本への処方箋 ～」

東京大学大学院情報理工学系研究科 教授 江崎 浩

内容：これまでのAS/ISでの効率化という成功体験に基づいた社会・産業モデルは、いよいよ機能しなくなりつつあり、TO BEの構造にイノベーションしなければ、日本自身が生きて行けなくなるとともに、国際競争力を失います。

DXは、物理を基本とした地政学を含む経済構造を、物理的地政学から解放された経済構造を可能にします。地方再生・創成の可能性をもたらします。

グローバルサウスの欧米等の先進国に対する優位性がこれを証明しています。

デジタルネイティブを前提にしたTO BEの可能性を議論します。



《 休憩 5分 》

研究者講演 14:10～15:00

「深層学習を用いた実データ分析事例」

広島市立大学大学院 情報科学研究科 准教授 鎌田 真



「時空間制約を受けない空間コンピューティングに向けた屋内位置測位の研究」

広島市立大学大学院 情報科学研究科 助教 山口 隼平



後援団体からの報告 15:00～15:15

「広島AIラボの活動について」

広島県 総務局 DX推進担当部長 安藤 良将



《 第二部会場へ移動 5分 》

第二部 マッチングセッション・交流会 15:20～16:30

各学部、研究科の展示（研究紹介）

大学発ベンチャー企業・産学連携関係団体の展示（事業紹介）

主 催：公立大学法人広島市立大学、広島市

後 援：中国経済産業局、中国総合通信局、広島県、一般社団法人中国経済連合会

公益財団法人中国地域創造研究センター、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会

公益財団法人ひろしま産業振興機構、広島商工会議所、一般社団法人広島県発明協会

一般社団法人広島県情報産業協会、公益財団法人広島市産業振興センター

—— マッチングセッション・交流会 ——

情報科学研究科

研究者講演

No.	テーマ	概要	研究者
1	深層学習を用いた実データ応用	近年、人工知能(AI)、特に深層学習(Deep Learning)と呼ばれる技術の性能が著しく向上し、様々な産業での活用が期待されています。本研究では、深層学習の仕組みについて理論的な研究を行い、感情認識、医療画像の診断支援、コンクリートひび割れ検出、土砂災害における経路探索など、様々な事例への応用を行っています。	知能工学専攻 人間情報学講座 准教授 鎌田 真
2	時空間制約を受けない空間コンピューティングに向けた屋内位置測位の研究	本展示では、情報ネットワーク分野のトップ国際会議 ACM MobiCom 2024 で私が発表した研究内容をご紹介します。空間コンピューティングとは、機械が現実の物体や空間への参照対象を保持・操作する人間と機械のインタラクションを意味します。本概念の実現にあたっては機械の高精度な自己位置推定が不可欠となりますが、現状の視覚と慣性に基づく屋内位置測位は実用に耐えうる精度を有していないことを膨大な実験ケースから網羅的に明らかにしました。本課題解決に向けては視覚と慣性に Ultra Wide Band 電波を結合した位置測位手法を提案し、頑健な屋内位置測位を図ると同時に時空間制約を受けない空間コンピューティングの未来を目指します。 【連携先】 大阪大学、カリフォルニア大学サンディエゴ校	情報工学専攻 コミュニケーション講座 助 教 山口 隼平

情報工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
3	エラートレランスを指向した論理・システム最適化設計の実用化	アプリケーションの誤りに対する許容性(エラートレランス)を考慮することで、従来の設計法では実現できなかった論理やシステムの最適化を実現します。	コンピューティング講座 教 授 市原 英行
4	一般病棟における患者見守りのための振動センサーを用いた呼吸状態解析技術	本展示では、安価な簡易振動センサーを用いることで、一般病棟に入院中の患者の呼吸状態を常時モニタリングし、異常を早期に検出してアラートを発する技術に関する研究を紹介します。この研究では、呼吸に伴う体動を解析することで、従来のパルスオキシメーターが測定する血中酸素濃度よりも早期に呼吸異常を検出することが可能となり、病棟における患者安全の向上と医療スタッフの負担軽減が期待されます。	コンピューティング講座 (代表) 教 授 弘中 哲夫 助 教 窪田 昌史
5	量子コンピュータのアルゴリズム、回路、システムの開発	現在のコンピュータの課題が増大する中、量子コンピュータが後継機の一つとなることが期待されています。計算には素粒子が使用されるため、アルゴリズムとシステム自体を変更し、再開発する必要があります。 【連携先】 通信関連企業、製造業	コンピューティング講座 (代表) 准教授 ルカックマーティン 石岡 健大(院生)

6	AI による LSI 製造品質の向上に関する研究	半導体チップの高集積化・微細化にともない、製造時の品質管理がますます困難になっています。製造後に不具合を起こしそうな箇所を、設計時に AI を用いて検出することで、製品の収率や品質の向上を図る研究を紹介します。	コンピューティング講座 (代表) 講 師 稲木 雅人 教 授 永山 忍
		【連携先】 製造業	
7	安心・安全な生活に役立つ自然界に学んだ無線 LAN 技術～同期現象の仕組みを使って超混雑状態でも快適にネットに繋がる WiFi を目指す～	本展示では、自然界で起きている同期現象（ホタルの点滅同期やメトロノームの周期同期など）を参考にした超混雑状態でもアクセス可能な無線 LAN 技術の研究を紹介します。	コミュニケーション講座 (代表) 教 授 小畑 博靖 教 授 高野 知佐 教 授 石田 賢治
		【連携先】 通信関連企業、地方自治体	
8	安心・安全な生活に役立つ自然界に学んだ無線 LAN 技術～物質粒子が移動しつつ拡散する現象を応用して高速な WiFi 接続先を予測する～	自然界の現象は物理学的な考えで説明できる場合があります。特に物質の「流れ」と「拡散」を表現する移流拡散現象もその一つです。本展示では、移流拡散方程式をベースにした高速な WiFi 接続先を予測する技術について紹介します。	コミュニケーション講座 (代表) 教 授 小畑 博靖 教 授 高野 知佐 教 授 石田 賢治
		【連携先】 通信関連企業、地方自治体	
9	暗証番号入力時における瞳孔の位置情報を利用した非正規ユーザ検知	近年、暗証番号を不正取得して現金を引き出す特殊詐欺が問題となっています。本研究では、正規ユーザと非正規ユーザの目の動きの違いに着目し、OpenPose と DTW を用いて検知の可能性を検討しています。	コミュニケーション講座 (代表) 准教授 稲村 勝樹 教 授 高野 知佐
		【連携先】 銀行、通信関連企業、地方自治体（警察県警）	
10	ネットワークシミュレーションの利活用～災害避難シミュレーション～	ネットワークシミュレータとモバイル端末を連携させ、さらに、3D 都市モデルを利用することで、現実に近い環境で災害避難シミュレーションを実行するためのシステムの開発を行っています。	センシング講座 教 授 大田 知行
		【連携先】 地方自治体	
11	電波の力でミライを創造する～IoT モニタリングの実現～	我々の研究グループでは、電波を利用したセンシング技術の研究を主に取り組んでいます。本展示では、センサネットワークに用いられる 920MHz 帯電波を用いたヒトや鳥獣の検知への応用や、土砂災害モニタリングシステムの開発、ならびにモバイルデバイスの位置推定の技術について紹介します。	センシング講座 (代表) 教 授 西 正博 講 師 新 浩一 講 師 小林 真 助 教 山口 隼平
		【連携先】 通信関連企業、地方自治体	
12	ホログラフィーによる 3D 原子イメージング～放射光を利用した材料分析・開発～	ホログラフィとは、3 次元（3D）物体像を記録・再生する技法で、身近には、紙幣などの偽造防止に使われています。この技法をナノメートルの世界に応用すると、原子の並びを 3D 再生させることができます。この技術を用いて、多くの他大学、研究機関、企業様と共同研究を実施しています。	センシング講座 准教授 八方 直久
		【連携先】 材料関係企業、公的研究機関	

知能工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
13	IoT 時代のデータ活用 ～深層学習を用いた時系列データ分類～	未分類の時系列データを高精度に分類する手法が求められています。本展示では、センサデータを対象とした時系列データ分類手法とその応用について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 教授 田村 慶一
14	AI を悪意のある攻撃から守れ ～AI セキュリティ、敵対的攻撃の検出手法に関する研究～	AI セキュリティへの関心が高まる中、データに悪意のある細工を施して深層学習のモデルを騙す敵対的攻撃が問題になっています。 本展示では、音声データや時系列データに対する敵対的攻撃とそれらを検出する手法について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 (代表) 教授 田村 慶一 高橋 京之佑 (院生)
15	プライバシー保護とデータ活用の両立を目指して	個人が持つデータを集めることなく機械学習を行う連合学習が注目されています。 本展示では、データとモデルそのものも秘匿できるモデル蒸留に基づく連合学習とその応用について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 (代表) 教授 田村 慶一 鶴田 祐哉 (院生)
16	感性×AI: 画像生成 AI や視線追跡技術を活用した対話型デザインシステム	ユーザに様々な候補デザインを提示し、ユーザが気に入ったデザインを組み合わせる新たな候補デザインを生み出すことを繰り返す「対話型進化計算」は、様々な分野で活用されています。最近の研究成果として、画像生成 AI により訴求力のあるデザイン案を提示するシステムと、視線追跡装置を利用したユーザの嗜好推定の試みについて紹介します。	人間情報学講座 教授 原 章
17	安佐南工場の環境学習に用いるデジタル教材の研究	安佐南工場における環境学習のデジタル化により体験を重視して直感的な学習を目指しています。人数制約や安全上の観点から工場見学では近づくことが困難な箇所も見学可能にし、AR マーカーを活用することでより簡易に体験へと誘導できるシステムの実現を行っています。	人間情報学講座 講師 岡本 勝
18	XR 技術を活用した学習とトレーニングへの取り組み	XR (VR や AR、MR) を活用した学習支援システムの開発を主に行っています。特に化学や物理など理科系科目の学習における実験を伴う学習について XR を用いた仮想的な実験の体験を活用した学習手法の研究を行っています。	人間情報学講座 講師 岡本 勝
19	人間の視覚機能を「超」えるコンピュータビジョンの実現	次世代コンピュータビジョン技術を用いてマテリアルの光学特性を解析し、反射・透過・吸収・放射といった挙動を解明することで、素材の種類や機能を高精度に推定する手法の確立を目指します。従来手法では得られなかった情報を引き出すことで、製造、医療、ロボティクス、スマート農業分野での応用が期待されます。 【連携先】 製造業関連企業、情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	知能情報学講座 助教 王 超

システム工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
20	電動車いす協調運転における支援方法の比較	システムが運転支援を行う協調運転時に、利用者が運転しやすい支援方法の確立を目指しています。本研究では、システムによる支援の強度を状況に応じて調整する運転方式の評価を行います。 【連携先】 ロボット関連企業、介護福祉関連企業、公的研究機関	人間・ロボット共生講座 (代表) 教 授 池田 徹志 柳澤 友一郎 (院生)
21	歩行者の快適さの推定に基づいて効率的に移動するロボット	日常環境で配達や案内などをする移動ロボットは、周囲の歩行者の邪魔にならないよう振る舞うことが求められます。ロボットとすれ違う歩行者の快適さを推定して振る舞うロボットを提案します。 【連携先】 サービスロボット関連企業、公的研究機関	人間・ロボット共生講座 (代表) 教 授 池田 徹志 赤井 洸太郎 (学部生)
22	協調運転時の運動主体感を高める支援タイミング	自動運転の普及により人が運転に関わらない時間が増加すると、自分で運転する必要性が生じた場合の適切な対応に問題が生じると考えられます。人が常に運転に主体的に関わりながら、同時に運転システムが適切な支援を行う協調運転を提案します。 【連携先】 自動車関連企業、公的研究機関	人間・ロボット共生講座 (代表) 教 授 池田 徹志 田中 遼汰 (学部生)
23	車体重心の変動に対応可能な高齢者運転支援システム	道路整備が遅れている中山間地域で暮らす高齢者にとって自動車や電動車いすなどの運転に多くの負担が生じています。特に傾斜地では積載物の重量変化に対する車体姿勢維持は平地以上に困難となり、高齢者には難しい運転操作となります。そこで我々は車体重心変動に適応しつつ運転者自身の運転スタイルを維持できる運転支援システムの開発状況について報告します。 【連携先】 自動車関連企業、機械系関連企業、電気系関連企業、情報系関連企業	人間・ロボット共生講座 (代表) 助 教 齊藤 充行 インターフェースデザイン講座 助 教 高橋 雄三 数理システムデザイン講座 助 教 小作 敏晴 助 教 辻 勝弘
24	道路状況や走行環境の変動に応じた予測車両走行モデル	安全・安心な自動運転を実現するためには、道路形状や走行状況の変動に応じて生成される目標軌道に精度良く追従できる制御入力(車両の速度とハンドル舵角)をリアルタイムかつ高精度に求める必要があります。本展示では、走行中にそのような制御入力を求めるための車両走行モデルを適応的に同定する方法を紹介します。 【連携先】 自動車関連企業、機械系関連企業、電気系関連企業、情報系関連企業	人間・ロボット共生講座 助 教 齊藤 充行

25	微細 MOSFET における Random Telegraph Noise の測定と評価	MOSFET における Random Telegraph Noise (RTN) の研究は、次世代の微細トランジスタの性能と信頼性を確保するうえで大変重要です。RTN は MOSFET のドレイン電流などが時間とともにランダムに大きく変動するノイズ現象で、電子または正孔が欠陥により捕獲・放出されることによって引き起こされるために発生します。ここでは、微細 MOSFET の RTN を測定し評価した結果について紹介いたします。 【連携先】 半導体関連企業、電気・電子関連企業、自動車関連企業、公的研究機関など	数理システムデザイン講座 助 教 辻 勝弘
26	小型垂直軸可変ピッチ風車の開発	災害時の電源確保や脱炭素社会の実現に向けた対策として分散型電源が注目されています。小型垂直軸風車は、騒音や景観などへの配慮が必要な都市部での分散設置に適した発電装置の 1 つです。本会では高効率化を目的としてブレードの電動式ピッチ角制御機構を導入した「垂直軸可変ピッチ風車」の開発状況について報告します。 【連携先】 機械系関連企業、電気系関連企業など	数理システムデザイン講座 助 教 小作 敏晴
27	全方位カメラによるロボットビジョン活用技術～①全方位視覚ロボットの人物追従、②全方位カメラを用いた屋内環境における車椅子ロボットの経路追従～	①では、低コスト運搬用移動ロボットの実現を目的として、1 台の全方位カメラのみで周囲環境を認識し、特定の人物を検出して自律的に追従する方法を提案します。 ②では、深層学習に基づくセマンティックセグメンテーションによって、車椅子ロボットが 1 台の全方位カメラの視覚情報のみで病院等の屋内通路を経路追従する手法を提案します。 【連携先】 ロボット機器関連企業、介護福祉関連企業、公的機関など	インターフェースデザイン講座 (代表) 教 授 李 仕剛 准教授 神尾 武司 助 教 小作 敏晴 熊本 翔太 (院生) 山本 拓実 (院生)
28	畳込み型非負値行列因子分解の可視化手法の基礎検討	非負値因子行列分解を用いることで周波数スペクトルを音の強度と周波数パターンに行列分解することができる。これを畳込み型へと拡張することで、時間的変化に対応した表現が可能となる。本研究ではこれを可視化するための基礎検討を行った。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関	インターフェースデザイン講座 (代表) 准教授 中山 仁史 大島 風雅 (院生) 大村 美結 (院生)
29	エージェントシステムおよび進化計算の応用研究～①輻輳海域における多船航路探索、②電力線通信における通信方式の最適化～	機械学習や進化計算などの代表的な AI 技術を実世界の問題に適用する場合、学習や解探索に要する計算コストが急激に増加することが多々あります。このような場合、問題特有の知識の利用はもちろん、学習法、探索法、システム構成を適切に選択・修正することが必要となります。本研究ではこれらの要求を考慮しつつ、エージェントシステムや進化計算を実問題に適用するための方法について紹介します。 【連携先】 モビリティ関連企業、システムパラメータの最適化を検討したい企業、公的研究機関など	インターフェースデザイン講座 (代表) 准教授 神尾 武司 河村 琉翔 (学部生) 岩堂 太成 (学部生)

30	エクスペリエンス・デザイン における“無意識の行動変容” の作り込み	ヒトと機械・環境との間のインタラクションの円滑化において明示的な情報（指示や説明）の提示機会を減らし、非明示的な情報（印象・メンタルモデルなど）の提示によって獲得済みスキルに基づく無意識の行動の誘発を目指したインタフェースのデザインが重要である。そこで本報告では無意識の行動変容を定量的に把握する手法について概説する。 【連携先】 情報関連企業、教育関連企業、地方自治体、医療・福祉関連企業	インタフェースデザイン講座 助 教 高橋 雄三
----	---	---	------------------------------------

医用情報科学専攻

No	テーマ	概 要	研究者
31	MEMS 技術とその医療応用	マイクロ・ナノメートルのサイズで機能する MEMS 技術とそれの医用応用に関する研究開発を紹介します。 (1) 肺内部での呼吸吸気計測を可能とする生体情報極限計測技術の開発 (2) マイクロニードルを応用した次世代経皮吸収剤技術の開発 (3) MEMS 技術を用いたウェアラブル、フレキシブルセンサシステムの開発	医用情報科学講座 (代表) 教 授 式田 光宏 准教授 長谷川 義大 講 師 アル・ファリシィ ムハンマド・サルマン
32	病気の診断に用いるアミノ酸 計測用小型装置の開発	臨床医療や予防医療の分野において適用可能な、血液中のアミノ酸濃度からがんや糖尿病、肝臓病などの疾患を簡便に診断可能なバイオセンサー型の小型装置の開発を行っています。将来的には一つの小型装置あるいは分析キットで複数の病態の診断が可能となり、また病気の早期発見や病態異常への早期対処が出来るため、患者のみならず健常人の医療や食に対する安心・安全を向上させることができます。	医用情報科学講座 准教授 釘宮 章光

大学発ベンチャー認定企業

No	テーマ	概 要	企業名
33	各種 VR 機器の製造販売	ユーザの進行方向に大腿部を支持し、歩行動作に応じて映像を変化させることによって VR 空間内の歩行移動を錯覚させる歩行感覚呈示装置や、支柱の代わりに球面体を用い、転がり運動によって少ない力で大きな揺動を実現可能なモーションプラットフォーム等、これまでにない新しいタイプの各種 VR 機器を提供しています。 【連携先】 各種関連企業、医療機関、地方自治体、公的研究機関等	株式会社 Movere 代表取締役 脇田 航 ※代表者は、情報科学研究科 システム工学専攻 准教授

地域共創センター

No	テーマ	概 要
34	地域共創センターの活動紹介	広島市立大学地域共創センターの業務、教員や学生が行う地域連携や社会連携の活動を紹介します。

後援団体ポスター展示

No.	団体名	概要
35	広島県 総務局DX推進課 (広島AIラボの活動報告)	2024 年 9 月に広島県庁に発足した広島 A I ラボでは、「A I の可能性を十二分に引き出し、社会課題の解決方策を提案」することをミッションとし、様々な探究活動を行っています。展示では、ラボ員が取り組んでいるテーマについて紹介します。 【事業内容】 ・広島 A I ラボの概要 ・活動内容の紹介
36	中国地域創造研究センターの事業紹介	中国創研は、中国地域における地域振興および産業活性化に関する課題解決方策の提案や支援等を行うことを通じて、中国地域の活力向上と持続的発展に寄与します。 【事業内容】 ・当センター概要 ・新産業創出研究会 ・質感色感研究会
37	INPIT 広島県知財総合支援窓口(一般社団法人広島県発明協会)	INPIT 広島県知財総合支援窓口は、中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザイン等の「知的財産」の側面から解決を図る支援窓口です。ご利用は無料です。 【事業内容】 ・知的財産に関する相談窓口
38	広島県情報産業協会の事業紹介	10/22～23 に開催する「ひろしま IT フェス2025」のポスター展示
39	広島市産業振興センターの事業紹介	当財団は、広島市が中小企業の技術力向上のために設置した「広島市工業技術センター」を指定管理者として運営しております。 展示では、広島市工業技術センターに設置してある試験機器や技術力向上のための事業についてご案内します。 【事業内容】 ・技術指導・相談（無料） ・工業技術支援アドバイザー派遣（無料） ・依頼試験（有料） ・設備利用（有料） ・講習会の開催 ・研究会の開催

【本学所有の特許・商標一覧】 (2025. 8. 1 現在)

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称	単独・共願
1	2012.5.11	第 4985098 号	特願 2007-138382	運転訓練システム	単独
2	2013.1.11	第 5548980 号	商願 2012-37104	Hiroshima City University	単独
3	2013.8.2	第 5327735 号	特願 2007-271204	信号再生装置	共願
4	2013.9.6	第 5354485 号	特願 2007-340381	発声支援方法	単独
5	2013.10.25	第 5625331 号	商願 2013-040684	3つのひかり 未来をつくる	単独
6	2016.7.15	第 5967758 号	特願 2012-150807	荷重測定装置	単独
7	2016.10.7	第 6014931 号	特願 2012-195770	視線計測方法	単独
8	2017.8.25	第 6195245 号	特願 2013-260280	モバイルアドホックネットワークアーキテクチャー及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法	単独
9	2018.3.2	第 6297611 号	特願 2016-031648	転倒検知装置及び転倒判定方法	共願
10	2018.4.20	第 6325234 号	特願 2013-231642	減速タイミング通知装置	単独
11	2018.8.3	第 6376680 号	特願 2014-029848	通信システム及び通信方法	単独
12	2019.2.8	第 6473872 号	特願 2015-152945	映像構築装置、疑似視覚体験システム、および映像構築プログラム	共願
13	2019.8.16	第 6570224 号	特願 2014-162391	自動車の外界認知性計測システム	共願
14	2020.2.5	第 6655247 号	特願 2016-38570	情報処理装置	単独
15	2020.10.23	第 6782940 号	特願 2016-167180	舌位・舌癖判定装置、舌位・舌癖判定方法及びプログラム	共願
16	2020.10.23	第 6782946 号	特願 2017-160560	音質制御システム、音質制御方法及び動力機械	共願
17	2020.11.4	第 6788303 号	特願 2019-535697	モーションベース	単独
18	2020.11.16	第 6795190 号	特願 2017-038857	歩行感覚呈示装置及び呈示方法	単独
19	2021.3.9	第 10942187 号 (米国特許)	16/145509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
20	2021.3.22	第 6856194 号	特願 2016-212332	医療用流れ測定装置およびその製造方法	共願
21	2021.6.9	第 6400229 号	商願 2020-133548	心をつなぐ 知の拠点	単独
22	2021.7.6	第 6412193 号	商願 2020-133549	図形(金色)	単独
23	2021.7.15	第 6913938 号	特願 2017-109614	情報処理装置および情報処理方法	単独
24	2021.8.26	第 6934679 号	特願 2019-046801	ブロックチェーン取引作成プロトコル、及びブロックチェーンアドレス作成方法	単独
25	2021.10.29	CN109073590B (中国特許)	201780021302.9	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
26	2021.11.15	第 6978001 号	特願 2018-508026	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
27	2021.11.24	EP3438278 (英、独特許)	EP17775006.4	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
28	2021.12.6	第 6989127 号	特願 2018-076719	道路修繕順位決定システム	単独
29	2021.12.24	第 6999141 号	特願 2020-116274	生体情報収集システム及びセンサユニット	共願

30	2022.5.20	第 7076732 号	特願 2018-036434	アデノイド肥大判定装置、アデノイド肥大判定方法及びプログラム	共願
31	2022.6.7	第 7084576 号	特願 2018-088459	流れ測定装置	共願
32	2022.8.22	第 7127839 号	特願 2019-031119	予測調整型サスペンション制御システム	単独
33	2022.12.8	第 7190685 号	特願 2019-544509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
34	2022.12.28	第 7202638 号	特願 2019-026986	先端分離型マイクロニードル	単独
35	2023.1.23	第 7215678 号	特願 2019-030009	生体情報測定装置、生体情報測定方法及びプログラム	共願
36	2023.1.31	第 7219437 号	特願 2018-139191	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、秘匿演算変換プログラム、および記録媒体	単独
37	2023.5.17	第 7281039 号	特願 2018-235108	ホディーエリアネットワーク通信方式	単独
38	2023.8.22	第 6732272 号	商願 2023-017968	図形商標(1)	単独
39	2023.8.22	第 6732273 号	商願 2023-017969	図形商標(2)	単独
40	2023.8.22	第 6732274 号	商願 2023-017970	図形商標(3)	単独
41	2023.12.11	第 7401046 号	特願 2019-189092	脳機能計測装置及び脳機能計測方法	単独
42	2024.3.25	第 7460155 号	特願 2020-556169	脳機能計測装置及び脳機能計測方法	単独
43	2024.12.16	第 7605539 号	特願 2024-038502	脳機能計測装置及び脳機能計測方法	単独
44	2025.5.30	第 7689669 号	特願 2021-046131	音質分析方法、音質分析プログラム、および該音質分析プログラムを記憶したコンピュータ読取可能な記憶媒体	共願
45	2025.6.20	第 7699803 号	特願 2021-117720	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、および、秘匿演算変換プログラム	単独

(商標7件(全件単独)、特許38件(国内単独21、国内共願14、外国共願3))

本日は、「広島市立大学産学連携発表会2025
～AI×地域共創で描く新しい広島～」へ
ご来場いただき、ありがとうございました。

今後の事業の参考とさせていただくため、
皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートはこちらから👉



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

地域共創センター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

TEL : 082-830-1545、082-830-1764 FAX : 082-830-1555

E-mail : ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp